



けいし



<教育目標> 上妻を愛し、夢や希望に向かって、
たくましく生きる子どもの育成

令和2年7月1日

頼られる私 慕われるべく

学校が再開して約1ヶ月が過ぎました。
約3ヶ月もの臨時休校が続き、子ども達の心や体に変化があるのではなかろうかと心配していましたが、特に大きな問題もなく安心しております。

さて、今年3月に発行されたPTA新聞『継志堂』に以下のような文章を寄稿しました。

長野県豊丘村では、平成八年度から村の小中学生の誕生日に合わせて本を贈っています。その本を包む袋にこう書いてあるそうです。

「弱いものをいじめてはならぬ。困っている人がいたら手を差し出せ。我が身をつねりて、人の痛さを知れ。」

この種の言葉で広く知られているのは会津藩のしつけです。同じ町に住む六歳から九歳までの藩士の子供たちは、十人前後で集まり（このあつまりを会津藩では「**仕（じゆ）**」と呼ぶ）、そのうちの年長者が一人**仕長（座長）**となり、ひきょうな振る舞いを特に行いましめ、「ならぬことはならぬのです」と教えられました。

一昨年、NHKの大河ドラマで『西郷どん』が放映されましたが、薩摩藩で行われていたのが郷中（ごじゆう）教育。会津藩同様に、各地域で年の多い者が少ないものに、読書や武芸をする中で、前記のようなことを教えたのでした。（以下省略）

江戸時代の会津藩や薩摩藩のようにつながりの強い地域社会のなかでは、上級生と下級生が共に学び、共に遊びながら、人として行ふべきこと、行ってはならないことを教えたのでした。

さて、今年の本校の教育のキーワードは「つながり」です。3つのつながり（縦のつながり・横のつながり・ななめのつながり）を作りながら、「言葉をつなぐ子・心をつなぐ子」を育てていこうとしています。

その中の「縦のつながり」を作る活動を7月から始めていきます。

具体的に申し上げますと、「縦割り班によるだいき掃除」に取り組んでいきます。

6年生が縦割り班のリーダーとなり、みんなの模範となり、【真面目に掃除する。掃除ができない子・分からない子に教えてあげる。掃除を怠けている子を指導する等】をしていきながら6年生のリーダー性を育てるとともに、教える・教えられる、支える・支えられる関係を子どもの集団に息づかせていきたいと考えています。

人から頼られたり、慕われたりすると嬉しいものです。「頼る」「慕う」下級生がいたとき、6年生はやりがいを感じ、さらに成長していく。「頼られる私」「慕われるべく」が6年生の心を育て、子ども達の「縦のつながり」を強めていくことでしょう。



夏休みが短くなります！！

今年の夏休みは、

8月8日（土）から8月19日（水）までの12日間となります。

そのために、従来、夏休み期間に行っていた「個人懇談」「プール開放」は中止いたします。

また、延期を予定しています「愛校作業」については、後日連絡いたします。



7月の行事について

- 1日（水） のびる学習開始
- 3日（金） 交通教室（1～3年）
- 7日（火）～14日（火） 発育測定（全）

※ 7月から下校の仕方が変わりますので、ご注意ください。学校再開後に配布しました黄色いプリントをご覧ください。

眠れていますか？ ゲームをしすぎてはいませんか？

最近、保健室に眠たいと訴えにくる子が多くなりました。訴えに来た子は保健室のベッドで熟睡をしています。また、教室では、どのクラスでも眠たそうな子や、あるいは寝ている子を見かけます。それも、午後からではなく午前中から。午前中から睡魔と戦っているようなのです。

どうして眠たいのかその理由を詳しく聞いてみると、夜遅くまでゲームをしていることが、一つの原因のようです。

私はゲームの内容については詳しくありませんが、「対戦型ゲーム」や「課金ができるゲーム」などがあり、ゲームをやめられない、ゲームで多くのお金を使ってしまうことにつながっているようです。

ゲームをする時間が長くなれば、ゲーム依存症の症状がみられ、医療機関に通院しなければならない心配も大いにあります。

そこで、保護者の方へお願いします。



- 子どもと話し合いをして、使用時間を決めてください。
- 子ども達がどんなゲームをしているのか、確実に把握してください。
- 課金するゲームは、絶対しないようにさせてください。



※ ホームページ上では、画像を加工しています。ご了承下さい。

水泳シーズンの到来です

増水した川・用水路には、絶対近づかないようにご指導ください。

子どもの
かすかな かすかな
変化を見つけ
ほめ
ひっぱり出すのが
コミュニティ・スクール上妻小学校の仕事です



子どもを認めて、ほめて、
励ます教師・家庭・地域

美点発見

子どものよさ（美点）を認めて、ほめて、励ましてください！！

校長先生、ぼくがします

6月のある日、昼休みの終わり頃、給食室へ食器を返しに行きました。給食室には3年生の〇君も食器を返しに来ており、牛乳瓶を返すケースのところで一緒にになりました。きまりでは、牛乳瓶は水で洗って返すことになっていますが、ケースに収められた牛乳瓶は水で洗っておらず、瓶の底にはわずかに牛乳が残っていました。

「校長先生、牛乳瓶を洗っていません。」
「あら、いかなね。ちゃんと洗わんとね。」

「校長先生、ぼくがします。」
「え、〇君がみんな洗ってくれと。」
「はい。」

と言って、牛乳の残った瓶を三本持って手洗い場に行き、きれいに洗ってくれました。

これも6月のある日、掃除時間が終わった後の廊下を見ると、バケツが一つ残っていました。中を見るとまだ汚れた水がたくさん入っています。私が片付けようとバケツを持つと、それを見ていたのか4年生の女の子が駆け寄ってきて、

「校長先生、私がします。私が片付けます。」
「と言って、バケツの水を捨てて片付けてくれました。」

上妻小学校にはたくさん
の美点がちらばっています。

